

日本の航空会社として初めてボーイング737-8型機を受領



新機材ボーイング737-8型機

スカイマーク株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:本橋^{もとはし} ^{まなぶ}学)は、本日2026年4月30日(木)(現地時間4月29日(水))に新機材ボーイング737-8型機、JA738Aをボーイング社より受領しました。日本の航空会社としてボーイング737-8型機を受領するのは、当社が初めてです。なお、羽田空港への到着は、2026年5月4日(月)を予定しております。



「JA738A」は、今後準備が整い次第、運航を開始する予定です。スカイマークは「安全をすべての基盤とし、安心かつ高品質で、シンプルでありながら心のこもった快適な航空サービスを、身近な価格で提供する」というミッションのもと、今後もお客様の利便性向上に向け、より快適で魅力的な空の旅をお届けしてまいります。

以上

<ご参考>

ボーイング737-8型機、737-10型機について

スカイマークが発注している737-8型機は、現行機の737-800型機と比較して、座席あたりの燃料消費量および二酸化炭素排出量を約15%軽減できることが見込まれます。また、737-10型機は、737-8型機と比べ胴体が長く、座席数が増加することから、737-800型機との比較で座席あたりの燃料消費量および二酸化炭素排出量が約19%軽減できることが見込まれます。

<ボーイング737-800型機(現行機)と新型機ボーイング737-8型機、ボーイング737-10型機について>

	ボーイング737-800型機	ボーイング737-8型機	ボーイング737-10型機
全長	39.5m	39.5m	43.8m
全高	12.5m	12.3m	
全幅	34.3m	35.9m	
航続距離	5,440km	6,480km	5,740km
搭載エンジン	CFM56-7B	CFM LEAP-1B Engines	
座席数	177席	177席	最大210席
燃料消費量 (現行機と比較)	—	約15%削減 ^{※1}	約19%削減 ^{※1}
受領時期	—	2026年4月～	2027年度

※1: 1座席当たり燃料消費量。消費量は固定とし、座席増加による1席あたりの燃料消費量削減度を算出